

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 6 1 1 3 0 m 1

官能評価で得られた感性的なデータや、研究で得られた新しい知見（食品の新しい作用）をどのように特許戦略に活かしていくのか、講師の経験や過去の裁判例、及び審決例などを引きながら具体的な事例に基づいて解説する。

～味・香・食感・新しい作用・・・食分野における知財による差別化～ 官能評価・用途発明を活用した食品分野の特許戦略

講 師：弁理士法人三枝国際特許事務所 副所長 パートナー弁理士 中野 睦子氏

紹介：国立大学法人九州大学大学院薬学部修士課程修了（薬剤師資格取得）。製薬企業に就職し、基礎研究所にて研究業務に従事。1996 年に三枝国際特許事務所に入所、同年弁理士登録。現在に至る。化学分野を中心に食品、化粧品及び医薬品などの特許出願、鑑定、相談及び訴訟等の知財業務を担当する。健康食品分野の特許出願戦略について、健康博覧会や食品開発展などで積極的に講演。その他 2016 年～東北大学大学院医学系研究科分子病態治療学分野非常勤講師。

●日 程 2026 年 11 月 30 日（月）13：00～17：00 ※見逃し配信のみでのご受講も可能です

●受講料 1 名 35,200 円（税込／テキスト） ※9/11（金）までにお申込の場合、28,160 円（2 割引）となります

～プログラム～

I. 特許出願における官能評価

- ① 官能評価の必要性
- ② 官能評価の長所と短所
- ③ 官能評価を利用した特許戦略
 - a. 官能評価に関係する特許要件
 - b. 明細書作成の留意点
 - c. 実施例作成の留意点
 - d. 官能評価を利用した明細書の実例

II. 用途発明とその特許性

- ① 用途発明とは
- ② 用途発明の長所と短所
- ③ 用途発明を利用した特許戦略のポイント
 - a. クレームの用語／表現に注意すべし
 - b. 従属クレームを有効活用すべし
 - c. 下位概念の用途を活用すべし
 - d. 作用機序（上流）と生理調整用途（下流）の併用を検討すべし
 - e. 添加物クレームと食品クレームの併用を検討すべし
 - f. 単純方法クレームの利用も検討すべし

III. ケーススタディから学ぶ特許戦略

官能評価／用途発明が関連した裁判例及び審決例（事例は変更になる場合があります）

- a. アルコール飲料の風味向上
- b. マスキング手法
- c. 酸味抑制方法
- d. 野菜エキス
- e. その他の事例

IV. まとめ 質疑応答

<修得事項>

1. 官能評価で得られた感性的な作用効果に基づく発明の強みと弱みを知り、権利書として有効な明細書の作成方法を学ぶ。
2. 食品分野の用途発明の実際の活用例をもとに、その特許性とその効力範囲について学び、食品の特許戦略に活かす。

<講師の言葉>

特許明細書を作成するうえで「味・香・テクスチャー」をどのように表現すれば、「おいしさ」を読み手に明確に伝え（明確性）、実施可能要件を満たした明細書を作成できるのか、実務家にとっては悩ましい問題である。特に最近では、「官能評価」に基づく特許出願が、用語の不明瞭さ、及び実験データ不備によるサポート要件違反等を理由に無効とされた裁判例が複数でている。

そこで本講義では、「官能評価」の問題点を抽出したうえで、「官能評価」を活用して、どのようにすれば強い特許明細書が作成できるか、実例を交えながらわかりやすく解説する。

また、食品分野に用途発明が認められるようになってから、食品分野において用途発明がどのように活用されているか、実例を紹介するとともに、その特許性とその効力について、特許戦略のポイントや問題点も含めて解説する。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2026/11/30	官能評価・用途発明を活用した食品分野の特許戦略	受講プラン (複数ある場合)	☐ ☐
会社名※				
所在地※ (請求書等の送付先)	〒			
参加者①	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)			
参加者②	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)			
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する			
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する			
備考※				

※【個人情報の取扱いについて】 ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 https://www.tech-d.jp/privacy/apply_privacy.pdf ）。

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先: entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	(普) 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ https://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-15 九段大和ビル 3 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		